

2026 年度(第 35 回)研究助成 公募要領

**自然科学分野・AI技術関連 (第 3 部) 1 件 100万円を30件(助成期間1年)
(第 4 部) 1 件1,000万円を 2 件(助成期間2年)
助成金総額…5,000万円**

自然科学の発展を促し、真理の探究および現代社会が抱える課題の解決に資する研究を強力に支援するため、本財団は AI 技術を開発する研究、または AI 技術を自然科学研究に組み込む・活用する「AI for Science」研究を対象として研究助成を実施します。

今年度は、AI を研究または利用する研究を当財団の重点助成事業として定着・発展させるため、第 3 部として若手や独創的なアイデアの芽吹きを広く支援する 100 万円の助成を、第 4 部として「AI 研究者」と「自然科学研究者」の本格的なシナジーを生み出す 1,000 万円の大型共同研究助成を新設し、愛知県下の研究者に対し、下記のとおり総額 5,000 万円を助成します。

－ 記 －

- 対象分野 本公募では、AI 技術を開発する研究、または AI 技術を自然科学研究に組み込み・活用する「AI for Science」研究を対象とします。
- なお、自然科学研究の対象分野として、医学分野(薬学・歯学・保険看護学を含む)は本公募の対象には含まれません。医学分野(薬学・歯学・保険看護学を含む)については、当財団が別途実施する「第 1 部」「第 2 部」の医学研究助成にて公募します。
- 助成金額 第 3 部 (一般公募)：自然科学分野における独創的かつ挑戦的な個人研究、または小規模な研究プロジェクトに対し、1 件につき 100 万円 (助成期間 1 ヶ年) を助成します。採択予定件数は 30 件 (総額 3,000 万円) を予定しております。
- 第 4 部 (共同研究公募)：AI 研究者と自然科学研究者との緊密なコラボレーションによる、創造的・革新的な共同研究プロジェクトに対し、1 件につき 1,000 万円 (助成期間 2 ヶ年) を助成します。採択予定件数は 2 件 (総額 2,000 万円) を予定しております。
- 応募資格
- ・応募者の定義として、第 3 部では「研究代表者」を、第 4 部では、申請の窓口となる方を「研究代表者」とし、もう一方のコラボレーション相手の代表者を「共同提案代表者」とします。
 - ・応募者(「研究代表者」及び「共同提案代表者」)は、愛知県内の大学または公的研究機関に所属する研究者であること。国籍は問いません。
 - ・応募者(「研究代表者」及び「共同提案代表者」)は、双方とも申請時点で博士の学位を取得していることが条件です。
 - ・応募者(「研究代表者」及び「共同提案代表者」)としては、医学分野 (第 1 部・第 2 部)、第 3 部、第 4 部のいずれか一方にのみ応募可能です。重複応募はできません。

- ・代表者ではなく共同研究者・研究分担者・研究参加者として複数の申請に参画することは可能です。
- ・共同研究者・研究分担者・研究参加者の所属機関の所在地には制限はありません。
- ・2027年4月時点で、当財団の研究助成期間内（延長申請分を含む）にある研究代表者は応募できません。
- ・申請課題は、AI技術を開発または利用する研究であること（本公募の必須条件）。AI技術を開発・利用しない研究は応募対象外とします。

■助成期間 第3部：2027年4月から2028年3月末までの1ヵ年
 第4部：2027年4月から2029年3月末までの2ヵ年

■応募期間 **2026年9月1日(火) ～ 2026年10月31日(土)**
 ・電子メールは翌朝(2026/11/01) AM9:00 当財団受信確認まで有効。
 ・郵送書類は当日(2026/10/31)消印まで有効。

■応募方法 当財団が指定する申請書様式（財団ホームページよりダウンロード）に必要事項を記入のうえ、以下の①・②**両方の手続き**を完了させてください。
 ※どちらか片方ではなく両方の方法でのご提出が必要です。

① 電子メールによる提出
 申請書類は電子メールに添付して送信してください。添付ファイルは、研究計画調書(Word形式)はPDFファイルに出力し、論文リスト(第4部のみ)はExcel形式のままのファイルをお送りください。

② 郵送による提出
 申請書類を印刷し、1部を当財団宛に郵送してください。

※①・②双方が揃った時点で正式受付となります。原則として受領確認の連絡は省略させていただきますが、到着状況の確認が必要な場合は、個別にお問い合わせいただければ回答させていただきます。

■選考方法 選考は財団が選任する学識経験者からなる選考委員会にて行います。また必要に応じてヒヤリングを行うことがあります。選考結果は財団理事長に答申の上決定します。

【選考において重視する事項】

- ・研究の独創性
- ・挑戦性および学術的インパクト
- ・研究計画の実現可能性
- ・研究組織の妥当性（共同研究体制など）
- ・予算およびスケジュール計画の合理性
- ・AI技術の開発または活用方法の妥当性と、それによって期待される自然科学へのインパクト
- ・特に第4部は「AI研究」と「自然科学」の共創・コラボレーション体制が緊密であり、共創による明確な付加価値が見込めるか

- 選考委員 2026 年度選考委員(敬称略)
- ・選考委員長
竹内 一郎 名古屋大学大学院 工学研究科 教授
 - ・選考委員(研究機関別 50 音順)
東中 竜一郎 名古屋大学大学院 情報学研究科 教授
森 健策 名古屋大学大学院 情報学研究科 教授
山西 芳裕 名古屋大学大学院 情報学研究科 教授
加藤 昇平 名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授
酒向 慎司 名古屋工業大学大学院 工学研究科 准教授
福嶋 慶繁 名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授
小山 聡 名古屋市立大学大学院 データサイエンス研究科 教授
辰己 賢一 名古屋市立大学大学院 データサイエンス研究科 教授
能勢 正仁 名古屋市立大学大学院 データサイエンス研究科 教授
- 結果発表 選考結果は 2027 年 3 月に発表予定です。
- 助成金交付 研究費の支給は 2027 年 3 月～4 月を予定し、支給方法は財団の定める方法によります。
- 受賞祝賀会 本助成金の交付にあたり、財団は研究助成授賞祝賀会(2027 年 5 月予定)を開催します。
受賞された「研究代表者」及び「共同提案代表者」には、可能な限りご出席いただくことをお願いしております（やむを得ない事情がある場合はこの限りではありません）。
- 報告義務 研究成果及び使途について所定用紙にて報告してください。
また、本研究に関して外部に発表する場合は、当財団(英文:The Hori Sciences And Arts Foundation)の助成によるものであることを明記し、成果物の写しを一部財団宛に送付してください。
- 説明責任 助成対象となった「研究代表者」及び「共同提案代表者」は、研究内容および経費使用に関する説明責任を負います。必要に応じて証憑書類を収集・保管してください。
- 個人情報 提出いただいた個人情報は、利用目的の範囲内で、かつ業務遂行上必要な限度内で利用します。法令等の定めを除き、本人の同意なく第三者に提供することは致しません。
なお、助成対象となった研究について 2027 年 4 月以降、当財団ホームページにて研究代表者氏名、共同提案代表者氏名、研究題目、所属機関、職名を公開します。
- 提出先 〒461-0018 名古屋市東区主税町四丁目 4 番 2
公益財団法人 堀科学芸術振興財団 事務局
担当：戸谷(トヤ)、鈴木 TEL：052-856-6677 FAX：052-979-5718
E-mail：contact@hori-foundation.or.jp

詳細は、下記のホームページをご覧ください。
<https://www.hori-foundation.or.jp/>

以上